

主な内容

4 面 江戸川区総合防災訓練
分譲マンション耐震診断助成を
開始
バス路線新設「篠崎駅～区役所」
運行開始！

■発行/江戸川区 ■編集/広報課 〒132-8501 江戸川区中央1-4-1 ☎(3652)1151(代表) FAX(3652)1109 ホームページ <http://www.city.edogawa.tokyo.jp/>

区政を支える力の源泉は「地域力」

～変革の時代、新たな行財政改革の推進～

平成18年第2回江戸川区議会定例会が、6月27日(火)から7月7日(金)までの会期で開催され、補正予算案などの議案が慎重に審議されました。ここでは、今回の本会議冒頭に行われた多田区長の招集あいさつの全文を紹介します。



平成18年第2回区議会定例会の開会にあたり、ごあいさつを申し上げます。

新年度が始まり3か月が経過いたしました。多くの区民のたゆまない努力によって支えられ、区政の着実な進展がみられることは誠に喜ばしいことであります。

さて、一方で、今まさに、国、地方をあげて、行財政改革の大きな波が強く押し寄せてきていることを実感いたします。

国自体の財政立て直しという切迫した課題もありますが、市町村合併や三位一体改革、さらには道州制の導入の検討など、地方自治の枠組みを大きく揺るがすような課題が相次いでおります。

また、急速に進行する少子高齢社会に備え、医療、年金などを中心とする社会保障制度全般の見直し、少子化抑制の対策、諸般の税制改正などが急ピッチで進められようとしています。

財政の健全性と安定性は 必須の課題

時代の変化に即した改革が必要なことではあります。今日の下況下で、全国の自治体が望まざるに将来を見据え、自らの道を切り開いていくことは、現実問題として容易なことではありません。

何よりも、この度の一連の改革で、各自治体が望んでいることは、自治権の保障と財政権の確保であります。しかし、その理念とは裏腹に、これらの改革もたらすものが決してその方向に向かつてはいない、というものが目下の議論の焦点となっております。

さらに、特別区においては、主要五課題の一応の決着後、都と区が共同して、新たな都区のあり方についての検討に入っております。これら、いずれの課題も、本区の将来にとって大きな影響を持つものであり、その行方をしっかりと見定めたいと考えてはなりません。



地域力を活かし 国を先取りする子育て支援

特に、財政面において、国や都への歳入依存が高い本区にとって、財政の健全性と安定性を高めることは、必須の課題であります。

本区はすでに、平成13年から健全財政推進本部を設置し、精力的に行財政改革に取り組みまいりました。これまで、区民サービスの質の維持と向上を図りながら、施策の見直しを行うとともに、約850名の職員を削減し、あわせて約52億2千万円を削減することができました。

また、基金については約42億3千万円を新たに積み立て、区債についても約29億5千万円を削減することができました。

さて、過日、わが国の合計特殊出生率が1.25と発表されました。昨年をさらに下回り、極めて憂慮すべき事態となっております。国も遅まきながら、少子化対策に本腰を入れて取り組む姿勢を示し、現在、策定中の骨太の方針に様々な施策を盛り込むことを目指しております。

注目すべきは、その中で検討されている内容に、本区がこれまで進めてきた子育て施策と軌を一にするものが多く盛り込まれていることである。例えば、乳幼児に

能となりました。この結果、基金の残高が区債の残高を上回るなど区の財政も大幅に改善しつつあります。

しかしながら、急激な高齢化の進行に伴う介護や医療の負担に加え、老朽化していく小・中学校施設の改築など、今後、行政需要はますます高まるのが必至であります。

このため、さらなる区独自の努力によって、より強固な財政体質を確立すべく、本年3月に「江戸川区行財政改革推進プラン」を策定し、取り組むべき改革の基本的考え方や内容を明らかにいたしました。今後、5年間において、さらに500人以上の職員削減を図るなど、これからも一層の行財政改革に努めてまいります。

する経済的支援の強化と保育のあり方、幼稚園児への手厚い経済支援、子育て支援拠点の創設・整備、学童の放課後の過ごし方対策など、子どもの成育過程に際したきめ細かい施策を構築すべきものであるということです。

このことは、これまで本区が築き上げてきた各般の施策が正しかったということの証であると考えています。本区は、長期にわたり、東京都区部で最も高い出生率を維持しており、国をはじめ多方面から、そのことについて強い関心を寄せられているところでもあります。



広報

えどがわ

2006年 平成18年 7/9

いま、江戸川区は

面積 49.09km² 18年7月1日現在
 総人口 663,046人 (前月比 198増)
 (男性 337,614人 女性 325,432人)
 うち外国人登録者数 20,521人 (前月比 63増)
 世帯 293,531世帯 (前月比 223増)

4

発行/江戸川区 編集/広報課 〒132-8501 江戸川区中央1-4-1 ☎(3652)1151(代表) FAX(3652)1109 ホームページ http://www.city.edogawa.tokyo.jp/

江戸川区総合防災訓練

7月21日(金)8時45分～11時10分
江戸川河川敷(京葉道路江戸川大橋上流)

総合防災訓練は、区と防災関係機関・区民の相互の連携と協力体制を緊密にするため、年1回実施しています。

今年の訓練は警察・消防・ライフラインの各機関など47機関3協力団体が参加して行われます。 ☎ 防災課事業係 ☎(5662) 2129



ヘリコプターによるビルからの救出訓練

訓練の内容

午前9時に東京都区部で直下型地震が発生し、広域的な被害が発生したという想定で実施します。

- ▶ 警察・消防・自衛隊による倒壊家屋や事故車両からの大規模な救出訓練
- ▶ 学校に避難所を開設し、区・防災機関・協定団体などによる連携訓練
- ▶ 健康サポートセンターに医療救護所を開設し、区・医療関係機



関・ボランティアの協力による応急救護訓練

- ▶ 市川市と救援物資輸送・重傷者搬送などの相互支援訓練

住民訓練コーナー

- 会場内には、自由に参加でき、防災知識を学び、体験するコーナーを設けます。
- ▶ 地震体験/煙体験/応急救護/初期消火/通報訓練/災害用伝言ダイヤル「171」体験/関係団体PRコーナー(一部コーナーでは手話通訳を行います)

区では7月10日(月)から、分譲マンションの耐震診断を行う方に、診断費用の一部を助成する制度を開始します。

対象項目 現場調査・設計図の検討・構造躯体診断・耐震性能評価・耐震診断報告書の作成・非構造躯体診断・建築設備診断・耐震補強案の検討

※助成金額など詳しくはお問い合わせください。

次の要件に該当する分譲マンションの管理組合の代表者または、所有者を代表する方を

- ① 昭和56年5月31日以前の建築確認通知書を取得していること
 - ② 3階建て以上であること
 - ③ 管理組合などで半数以上の人が診断に同意していること
 - ④ 診断に必要な設計図が整っていること
- ☎ 構造設備係 ☎(5662) 1106

分譲マンション耐震診断助成を開始

区内めぐり

- ☎ 7月21日(金)9時40分～15時30分(雨天実施)
※グリーンパレス集合。
- ☎ 一之江名主屋敷⇨葛西健康サポートセンター⇨ホテルシーサイド江戸川(昼食)⇨新左近川親水公園⇨荒川ロックゲート
- ☎ 33人(抽選)
- ☎ 昼食代1,500円・一之江名主屋敷施設維持協力費100円
- ☎ 7月11日(火)9時～17時に電話で、区政案内係 ☎(5662)6168



一之江駅・瑞江駅の駐輪場整備に対する取り組みが全建賞を受賞!

6月30日、江戸川区は(社)全日本建設技術協会より優れた成果が得られた公共事業として17年度「全建賞」の都市部門で表彰されました。



これまでにもタワーホール船堀など4回受賞し、今回は放置自転車ゼロを目指して取り組んでいる「総合自転車対策」の一環として整備した一之江駅と瑞江駅の駐輪場が評価されたものです。今後も、放置自転車のない安全・安心・快適なまちづくりを進めていきましょう。

☎ 街路橋梁課設計係 ☎(5662) 8426

表彰式で贈られた楯

区役所発	篠崎駅発
7時48分	7時24分
8時18分	8時29分
9時30分	9時06分
10時00分	10時06分
11時00分	11時06分
12時30分	12時06分

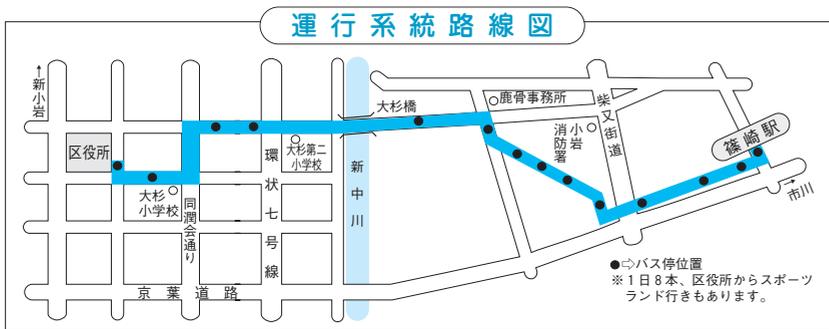
※スポーツランド行き。

7月19日(水)から、篠崎駅と江戸川区役所を結ぶバス路線が京成バスにより運行を開始します。ぜひ、ご利用ください。

運賃 大人210円/小人110円

※大杉第二小学校、区役所間を乗り降りする場合は、大人200円/小人100円。

☎ 交通調整係 ☎(5662) 5666



バス路線新設「篠崎駅⇨区役所」運行開始!

6月21日(水)から、京成バス江戸川営業所 ☎(3677)5461

休日急病当番医

- ☎ 診療時間⇨9時～17時(急病のみ受け付け。往診は不可)。
- ☎ 外科は救急病院(「平成18・19年度くらしの便利帳」170ページ参照)をご利用ください。
- ☎ 当番医(変更になる場合もあります)、医療機関の案内は下記のところで行っています。聴覚に障害のある方はファクシミリをご利用ください。
- ・テレホンセンター ☎(3651)5270 } =9時～17時
FAX(3654)4902
- ・東京消防庁テレホンサービス ☎(3212)2323 =24時間
- ・東京都保健医療情報センター ☎(5272)0303 } =24時間
FAX(5285)8080

7月16日

- 小 山本小児クリニック 中葛西3-11-20 ☎(3688)8600
- 内 安部診療所 一之江4-7-4 ☎(3652)0234
- 小児科 皆川内科小児科 北小岩2-9-12 ☎(3671)0030
- 小岩診療所 北小岩6-8-13 ☎(3673)2857
- 小松川病院 中央1-1-15 ☎(3655)5511
- 内 中村医院 一之江7-29-8 ☎(3651)1515
- 片倉クリニック 東小岩5-19-12 ☎(3658)0221
- 瑞江脳神経外科医院 南篠崎町3-24-2 ☎(3670)2112
- 眼 船堀眼科 船堀3-7-1 ☎(3877)3141
- 耳鼻 吉田耳鼻科医院 西葛西6-13-7 ☎(5667)6050

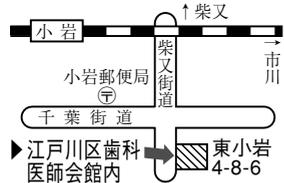
7月17日

- 小 麻生小児科医院 西葛西6-9-12 ☎(5659)5220
- 鈴木医院 平井6-36-1 ☎(3612)0658
- 内 きむらクリニック 西一之江3-12-19 ☎(3674)6600
- 小児科 大木クリニック 西小岩1-28-18 ☎(5693)0600
- 玉城医院 東小岩6-1-3 ☎(3657)1011
- 小暮医院 興宮町16-13 ☎(3653)5347
- 池田医院 篠崎町4-32-15 ☎(3670)9211
- 内 申孝園診療所 一之江6-19-18 ☎(3652)9860
- 眼 日根野眼科医院 南小岩7-5-16 ☎(3659)1147
- 耳鼻 船堀ゆり医院 船堀1-4-13 ☎(5605)3301

休日歯科応急診療

7月16日・17日

- ☎ 診療時間⇨9時～17時
- ☎ 休日専用電話 ☎(3672)8215 に予約のうえ、16時30分までにお越しください。



休日応急当番接(整)骨院

- ☎ 施術時間⇨9時～17時
- 7月 内田整骨院 平井6-56-1 ☎(3617)8849
- 16日 山口整骨院 一之江4-1-33 ☎(3651)4079
- 7月 上一色藤接骨院 上一色2-17-2 ☎(3653)6730
- 17日 けんご整骨院 西瑞江3-17-14 ☎(5666)3447

リハビリ相談(予約制)

- ☎ 7月26日(水)14時～15時30分
- ☎ リハビリ専門医・理学療法士・作業療法士による相談
- ☎ 脳卒中・パーキンソン病などによる障害のある方、車いす・つえなどのことでお困りの方
- ☎ 7月10日(月)9時から電話で、中央健康サポートセンター ☎(5661)2469

R100 古紙配合率100%再生紙を使用しています。

梅雨明け間近

カビや家屋害虫が発生しやすいこの季節は、換気・除湿・清掃が大切です。 ☎ 環境衛生第一・二係 ☎(3658)3177